

登録制度改革

2025年度からの団体成立条件(指導者資格の義務づけ)について

第77回理事会（2022年8月29日）で承認／発表されている事項

- **登録システムの変更** ⇒2023年度より
- **新たな会員種別の設定**
 - ① **小学生種別の設定** ⇒2023年度より
 - ② **審判、指導者の種別設定**
- **団体成立条件の設定（2025年～）**

小学生・中学生が登録する一般団体（学校を除く）で、
1名以上のコーチ資格及び審判資格の保有者を義務化する

今回の更新事項

- 2025年度から団体成立条件の設定

★コーチ資格保有者の義務づけ ※審判資格は別途検討中

小学生・中学生が登録する一般団体（学校を除く）で、
1名以上の有資格者(JAAF公認スタートコーチ以上)の登録を必須とする

- 2025-2026年度は移行措置を設ける

措置：コーチ養成講習会の修了者(※)も認める ※受講後4年以内

《対象講習会》

JAAF公認スタートコーチ養成講習会

JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会

JAAF公認コーチ養成講習会

※今後、コーチ資格義務づけの方針を明確化する方向で検討

★「指導者養成指針」では、陸上競技の指導に関わる全ての人(およびその実践)を「指導者(指導・支援)」と呼び、本連盟の指導者養成カリキュラムを修めた資格取得者(およびその実践)を「コーチ(コーチング)」と呼ぶ。

社会環境の変化（資格義務化）

◆JAAFが目指すもの

すべてのアスリートが
安心して競技に取り組める環境を目指して



コーチ資格の義務化



すべての指導者に
コーチ資格を
指導法の現代化・安全管理能力の向上

◆国の方針

・第3期スポーツ基本計画

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策
2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策
3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

・教員の働き方改革による中学運動部活動の地域移行

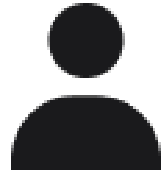
◆JSP0

- ・公認スポーツ資格制度の抜本的な見直し
- ・資格更新研修にインテグリティ研修の義務化

現状の充足率

陸上競技 有資格指導者

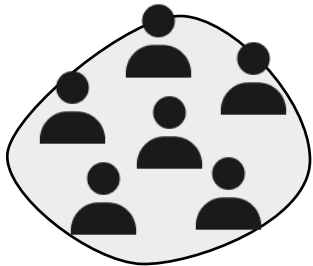
※2023年10月1日時点



6,498人

中学生以下が所属する団体

※2024年2月時点



1,866団体

資格保有者の充足率

(中学生以下の所属する団体)

49.7%

※コーチ資格 新規養成数:

2023年度 : 1,000人

→2024年度資格付与

2024年度 : 1,200-1,500人(予定) →2025年度資格付与

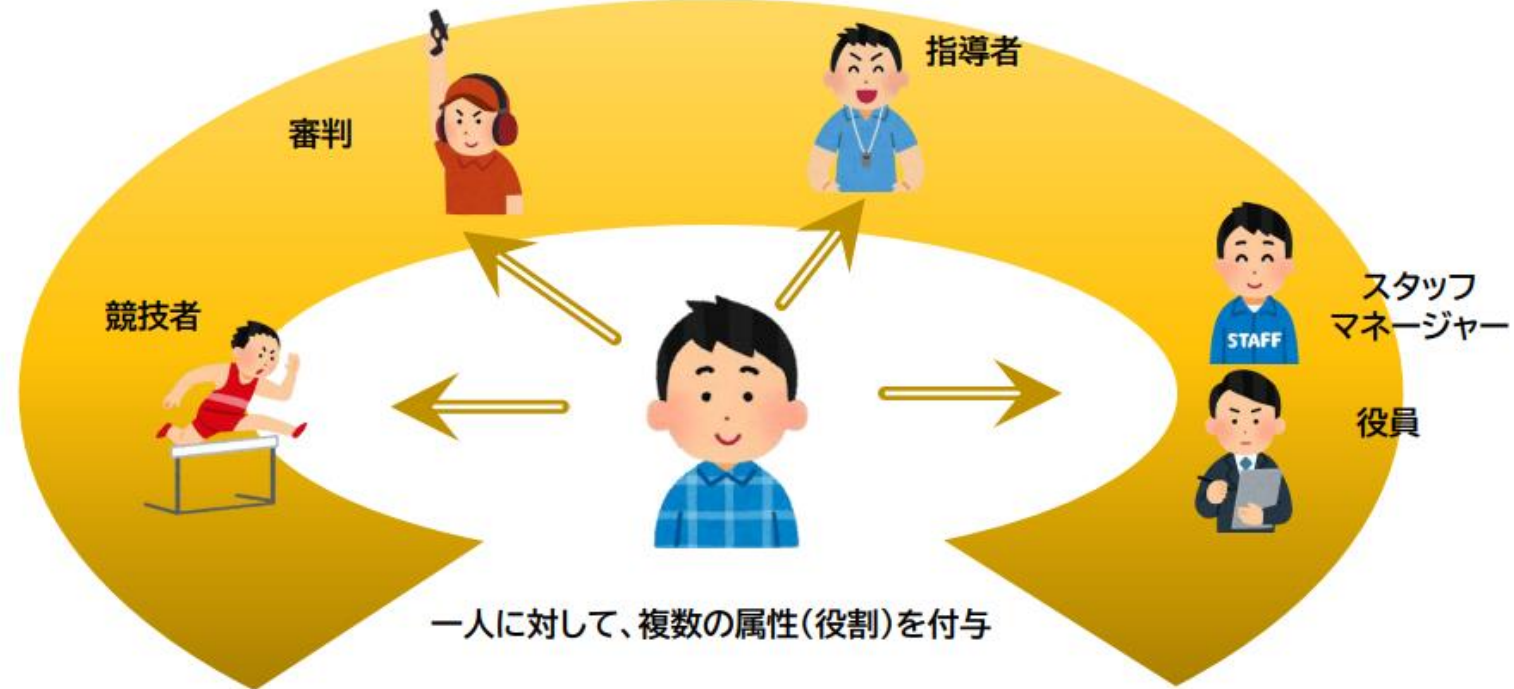
- 1人のコーチが「コーチ(有資格者)」として登録できる団体は1団体とする。
 - 1人の人が、コーチ(有資格者)および競技者として、異なる団体に登録することは可。
 - 今後(将来的に)は団体規模に応じたコーチ数および資格レベルを検討する。
- JSPO公認スポーツ指導者登録とJAAF会員登録とのシステム連携。
 - 日本陸連登録システム(JAAF-START)にJSPO公認スポーツ指導者資格情報を登録した(2024年6月12日)。 ※マッチング可能な人のみ(約4900人)
 - 陸上コーチ(指導者)として活動・指導する人は、陸連に登録されている状態であるべき。
- 登録システム、団体成立条件における審判の設定は現在検討中。
 - 運動部活動の地域移行、クラブ化、競技会運営(審判不足)を考慮した検討。
- 2027年度以降、学校(中学・高校・大学)および実業団のコーチ登録を整備する。
- スポーツ庁、JSPOの指導者資格制度改革・見直しと連動した制度づくり。

参考資料

第77回理事会資料資料（一部）

登録制度検討ポイント

審判・指導者などの新たな種別の設定



方向性・提案

これまでは「会員」(=競技者)という概念しかなかったが、

審判、指導者という種別を新たに設定する。

またスタッフやマネージャー、役員の方も把握できるようにする。

団体成立要件での指導者・審判資格の義務づけ

内容ポイント



指導者

運動部活動の地域移行や地域クラブ発展も踏まえ、指導者養成指針に基づいた指導者のスキルアップが求められている。また、安全に有意義な活動が出来るよう、競技者育成指針、指導者育成指針に沿った環境づくりを目指す。



審判

教員の働き方改革の影響で、競技会運営の担い手の減少が懸念されており、「相互審判」の体制を確立させる。

方向性・提案

★2025年度から小学生・中学生が登録する一般団体で、1名以上の指導者資格保持者及び公認審判資格保持者を義務化

※加盟団体の運用に合わせた資格取得の詳細な条件設定は、別途検討予定。
※学校への条件設定については資格養成状況を見ながら別途検討。

指導者：スタートコーチ/ジュニアコーチ/公認コーチ
審判：S級/A級/B級/C級

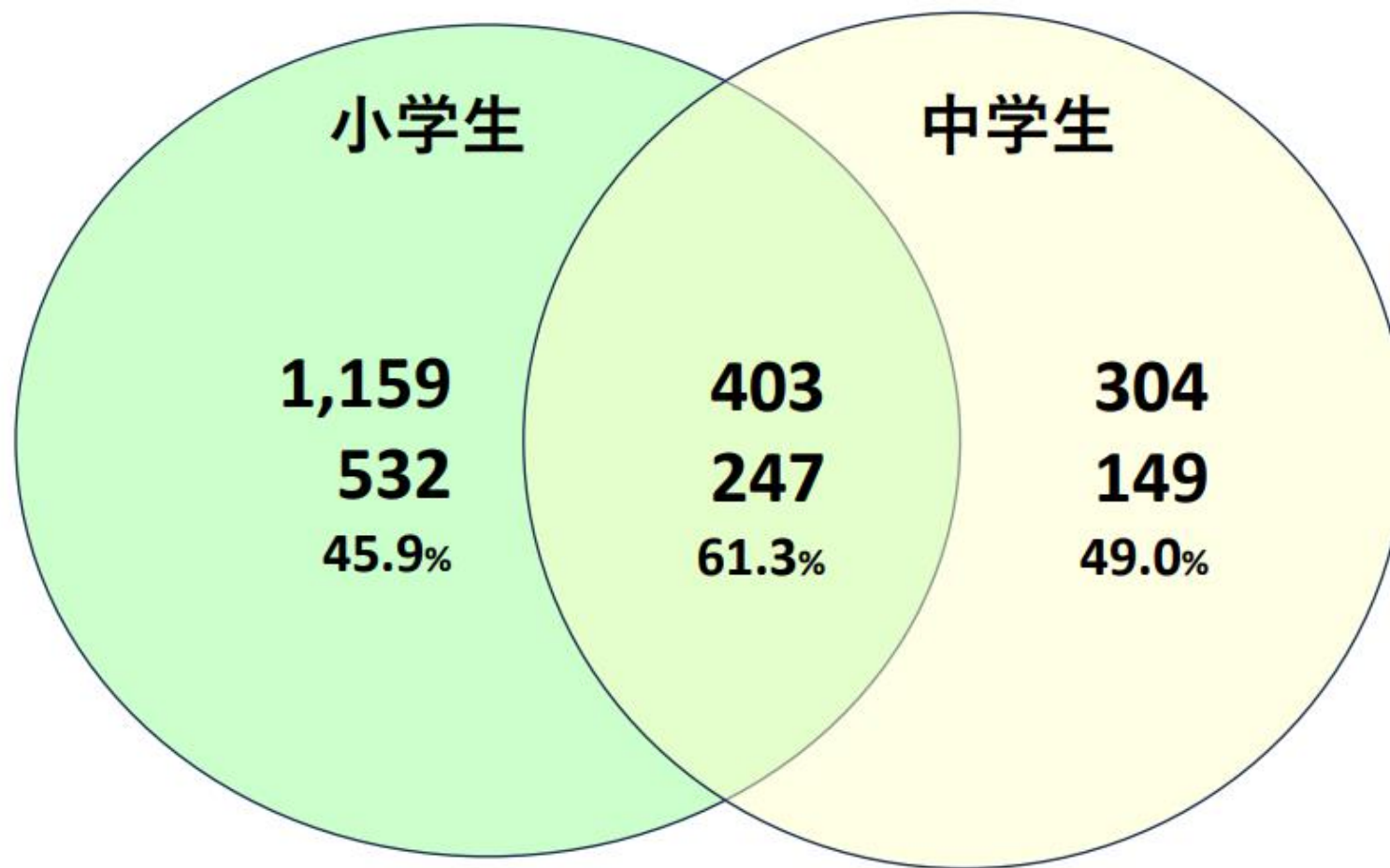
団体登録者のいずれかが取得していること。
※指導者・団体責任者以外の取得でも可

プロジェクトメンバーご意見

- ・「陸上」の資格取得について、スタートコーチを含め、**現状に合った制度化を進めた方が良い。**
- ・地域移行の観点も踏まえ、資格取得は責任者・教員に限らず**外部指導員や保護者・クラブメンバー**であっても良いと思う。
- ・C級審判員として、IHでは高校生も参加しており、**新たな担い手の確保**を含め、競技会運営の安定化や魅力を感じてほしい。

	会員登録済	会員登録未登録		合計
		JAAFIDあり	JAAFIDなし	
スタートコーチ	326	74	165	565
コーチ1	2,396	707	1,468	4,571
コーチ2	38	4	19	61
コーチ3	834	188	201	1,223
コーチ4	102	19	50	171
	3,696 56.0%	992 15.0%	1,903 28.8%	6,591

↑
↑
無料ID状態の人
会員登録料を支払った人



上段：団体数
中段：有資格者のいる団体
下段：割合

1,866
928
49.7%

* 指導先不明指導者数1,903人 (28.9%)

